

道路工事保安施設設置基準（案）

（昭和 47 年 2 月）
建設省道路局道路第一課

道路工事保安施設設置基準（案）



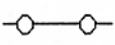
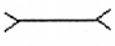




（昭和47年2月 道路局国道第一課）

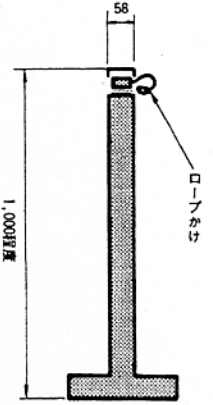
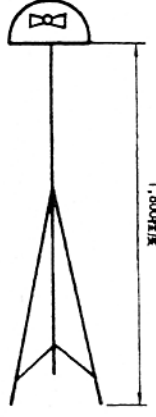
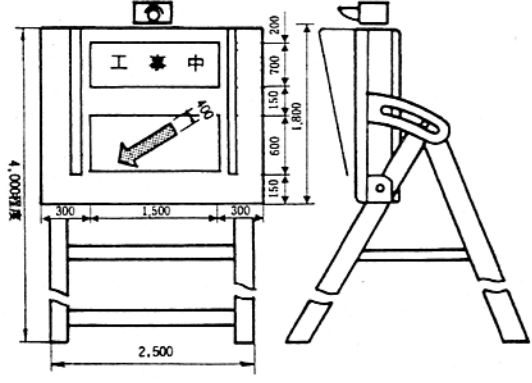
保安施設の設置目的

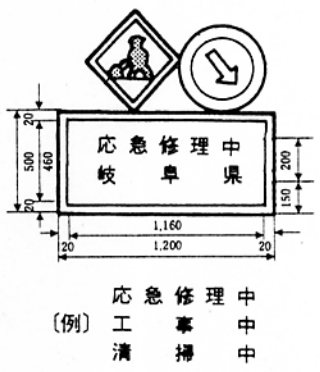
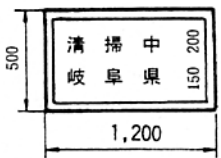
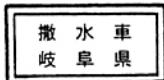
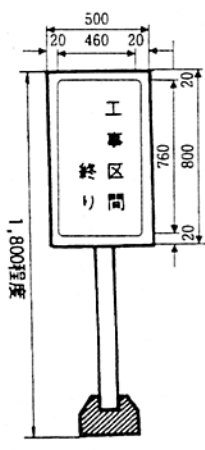
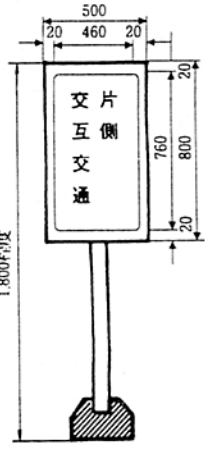
呼 称	適 用 条 件				
	工 種	車 線 数	昼 夜 別	作 業 個 所	摘 要
A-1型	車道打換舗装	4車線	夜間作業	片側全車線	
A-2	"	2 "	"	"	
A-3	"	4車線以上	"	片側一部車線	
A-4	"		"	片側全車線	路面軌道のある場合
B-1	作業休止	4車線以上	昼 夜 間	"	
B-2	"	2車線	"	"	
C-1	局部打換 (小規模)	"	夜間作業	"	工事個所が短時間で移動
C-2	カットカバー パッチング等	4車線以上	"	片側一部車線	"
D-1	目地シール		昼間作業	片側全車線	"
D-2	目地シール		"	片側一部車線	"
E	レーンマーク 作業		"	車道区画線	
F-1	路面清掃		夜間作業	車 道	
F-2	路側作業 (機械)		"	路 側	
F-3	短時間の路側 作業 (人力)		"	路側・路肩又 は 歩 道	
G	長時間の路側 作業		"	路 側 歩 道	

注) 例示のない場合は適用条件の類似のものに準じて処理すること。

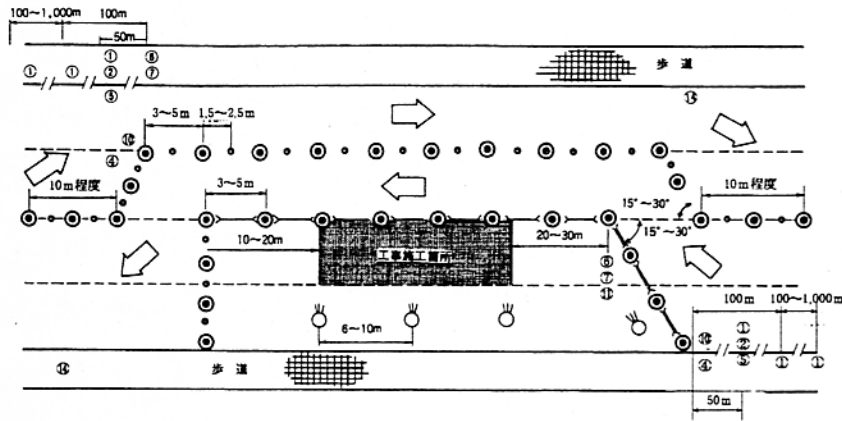
保安施設設置標準図一覧表

施設	記号	交通 誘導	立入防止	場所の 明示予告	交通指導	その他	摘要
照明灯				○			
保安灯		○	○	○			
歩道柵			○	○			
バリケード			○	○			
〃			○	○			砂袋等にて半固定させたバリケード
セフテーコン	○	○		○			夜間はカラーコーン使用
警戒標識 (213)	①			○			
警戒標識 (211)	②			○			
警戒標識 (212-2)	③			○			
規制標識 (311-E)	④	○			○		
規制標識 (329)	⑤				○		
標示板(昼夜間道路工事中)	⑥					○	
標示板(通行中の皆様へ)	⑦					○	
黄色回転等	⑩			○			
保安要員		○	○		○	○	
交通整理員		○			○		
作業者(又はこれに代行するもの)			○				
標示板(工事中)	⑪	○		○	○		
〃(工事内容)	⑫					○	
〃	⑬					○	
〃(工事区間終り)	⑭			○			
〃(片側交互交通)	⑮	○			○		

番 号	9	10	11
記 号	⑨	⑩	⑪
様 式 お よ び 標 準 寸 法 (単 位 mm)			
注	<p>(1) 柱およびロープは、黒黄の縞をほどこすものとする。</p> <p>(2) ロープの外径は12mm以上とする。</p> <p>(3) 柱間隔は約5mとする。</p>	<p>(1) 視認距離 200m以上の効果をもつ黄色回転灯とする。</p>	<p>(1) 色彩は「工事中」を黒色、地は黄色、矢印「←」は赤色とし、表示方法はどれもアクリル板にスクリーン印刷し、内部照明する。また矢印「←」は点滅式とする。</p> <p>(2) 標識板頭部には視認距離 200m以上の効果をもつ点灯式黄色または赤色注意灯を設置すること。</p> <p>(3) 構造形式は任意とする。</p>

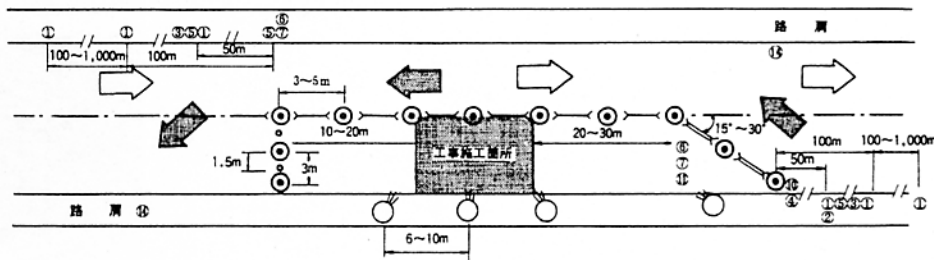
番 号	12	13	14	15
記 号	⑫	⑬	⑭	⑮
様 式 お よ び 標 準 寸 法 (単 位 mm)		<p>表 面</p>  <p>裏 面</p> 		
注	<p>(1) 字体はゴシック体とし、文字および縁線は白色スコッチライト、地は青色とする。</p> <p>(2) 文字標示板は作業に応じて使い分けること。</p> <p>(3) 標識車として使用するとき、作業車等の屋根の上に設置し、黄色回転灯も設置すること。</p>	<p>(1) 字体、文字、地色は⑫に同じ。</p> <p>(2) 作業中は表面を、通常は裏面を標示する。</p>	<p>(1) 一字体の大きさは150mmとし、字体はゴシック体とする。文字および縁線は白色スコッチライト、地は青色とする。</p>	<p>(1) 一字体の大きさは150mmとし、字体はゴシック体とする。文字および縁線は白色スコッチライト、地は青色とする。</p>

A-1型 標準図 | 4車線 片側全車線閉塞 | 夜間作業



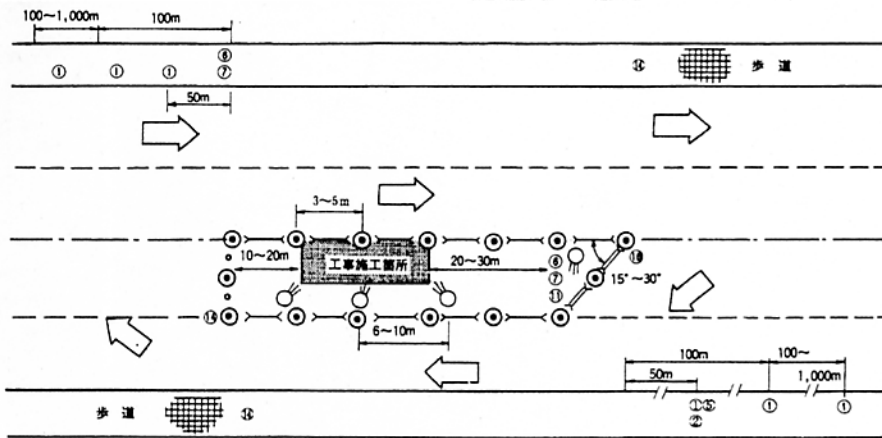
- 注 (1) ①の設置数、距離については、交通量その他、現地の状況によって定めること。
 (2) 昼間作業は照明灯と保安灯を除く。
 (3) 作業箇所が隣接している場合には最初の個所の対面個所に⑥⑦を最後の個所の後端に⑭を設置する。

A-2型 標準図 | 2車線 片側全車線閉塞 | 夜間作業

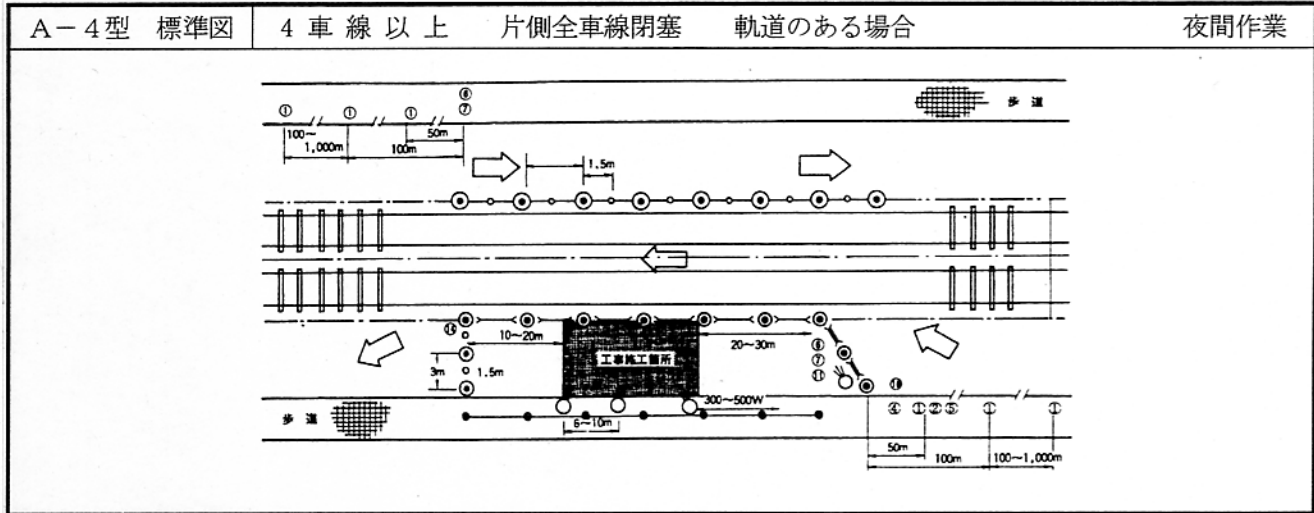


- 注 (1) ①の設置数、距離については、交通量その他、現地の状況によって定めること。
 (2) 昼間作業は照明灯と保安灯を除く。
 (3) 工事区間長および交通量に応じて、両端に適宜交通整理員もしくは自動信号機を置くこと。

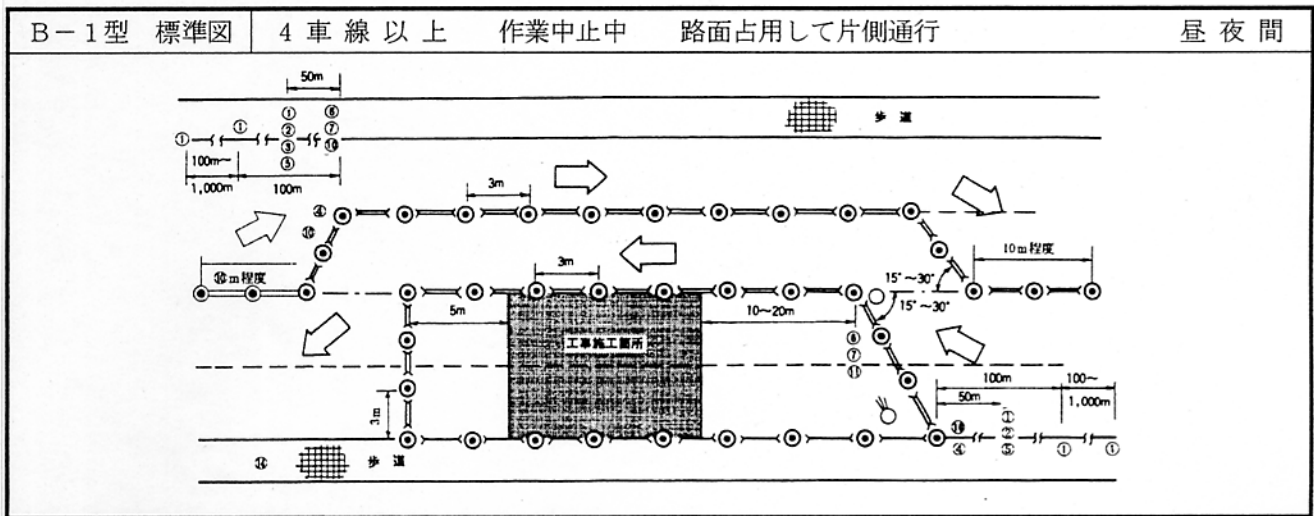
A-3型 標準図 | 4車線以上 片側1車線以上通行可 | 夜間作業



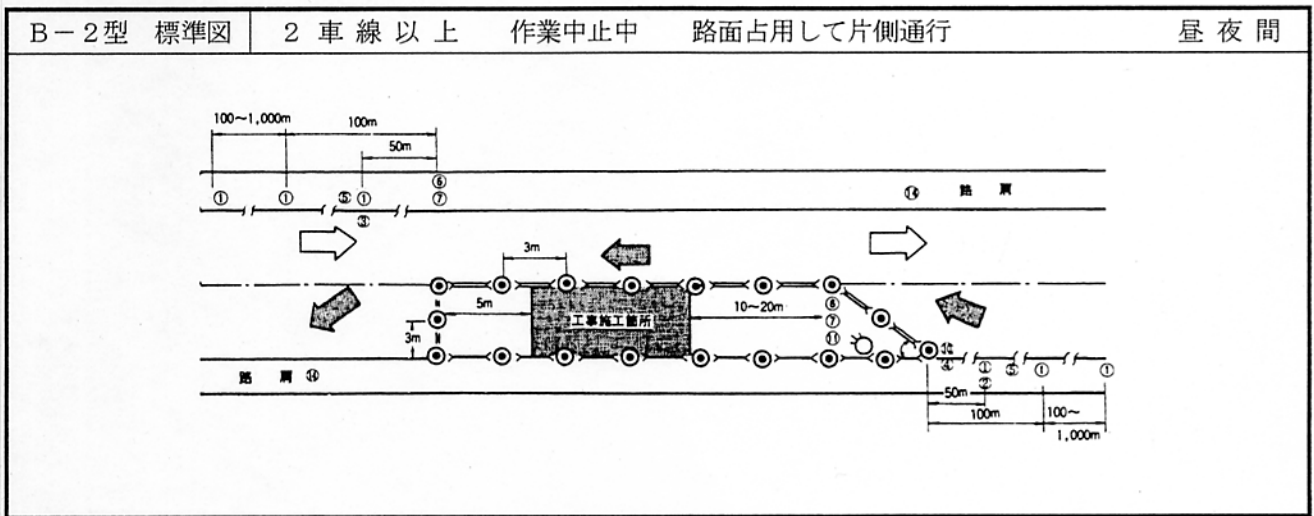
- 注 (1) ①の設置数、距離については、交通量その他、現地の状況によって定めること。
 (2) 昼間作業は照明灯と保安灯を除く。
 (3) 作業休止のある工事では、休止中はバリケードを半固定式とする。



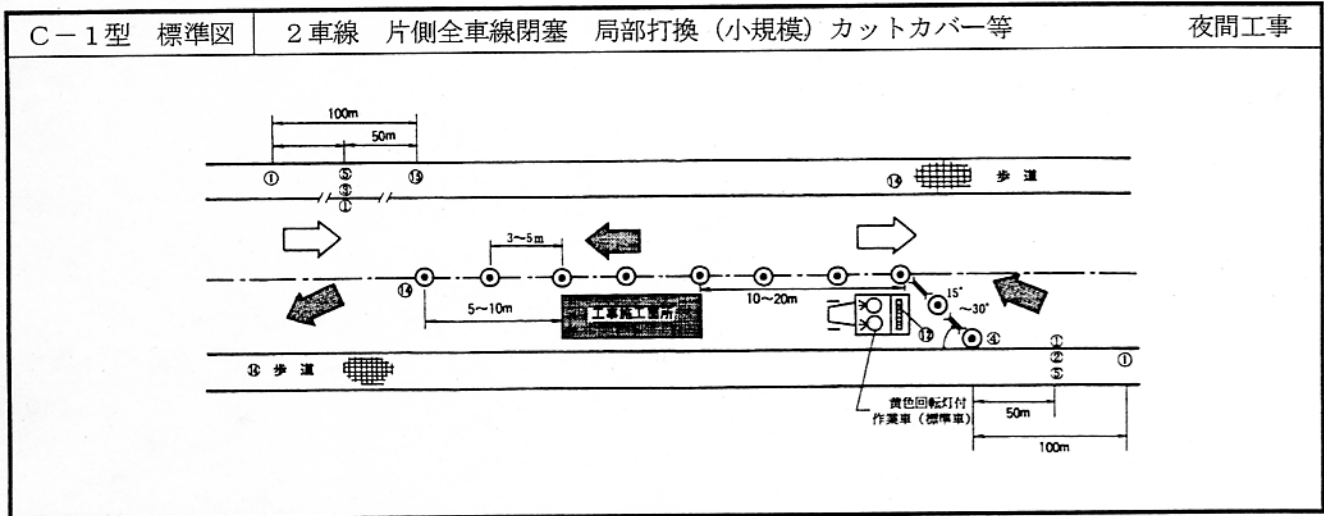
- 注 (1) ①の設置数、距離については、交通量その他、現地の状況によって定めること。
 (2) 昼間作業は照明灯と保安灯を除く。



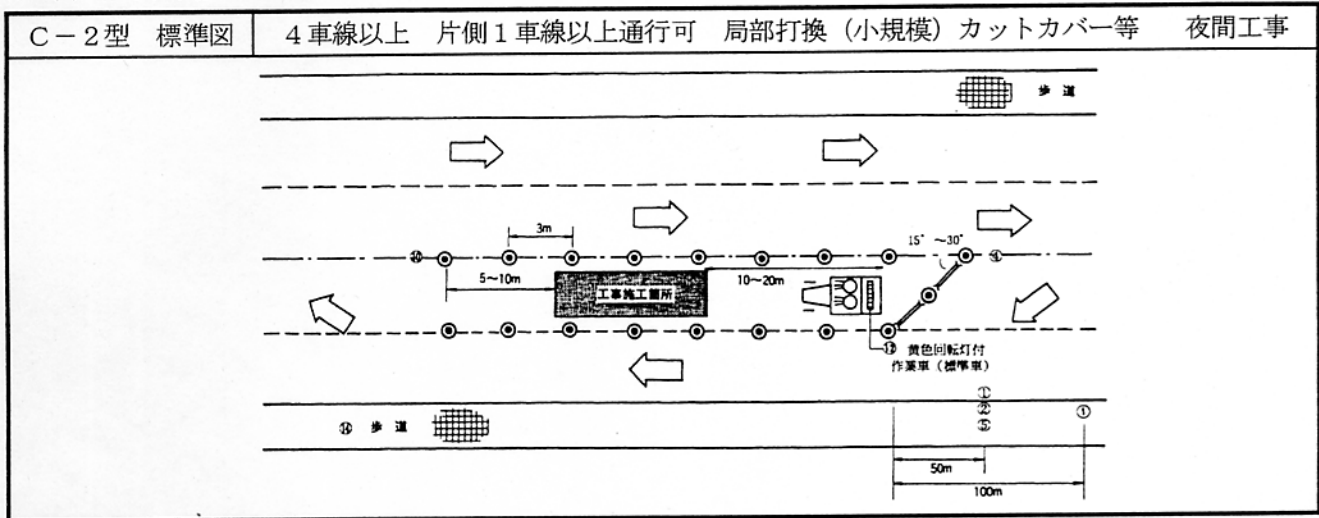
- 注 (1) ①の設置数、距離については、交通量その他、現地の状況によって定めること。
 (2) 歩道に防護柵が設置してある場合は歩道柵は不要。
 (3) 交通量に応じて交通誘導員を置く。



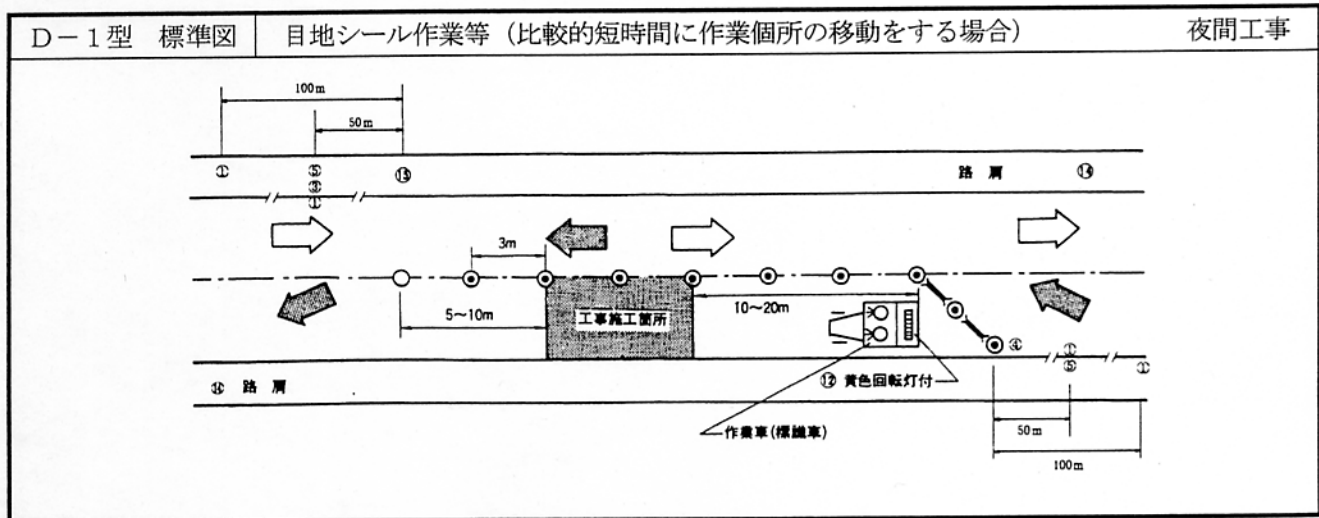
- 注 (1) ①の設置数、距離については、交通量その他、現地の状況によって定めること。
 (2) 工事区間長および交通量に応じて、両端に適宜交通整理員もしくは自動信号機を置くこと。
 (3) 路肩に歩行者のいないとき、また防護柵が設置してあるときは歩道柵は不要。



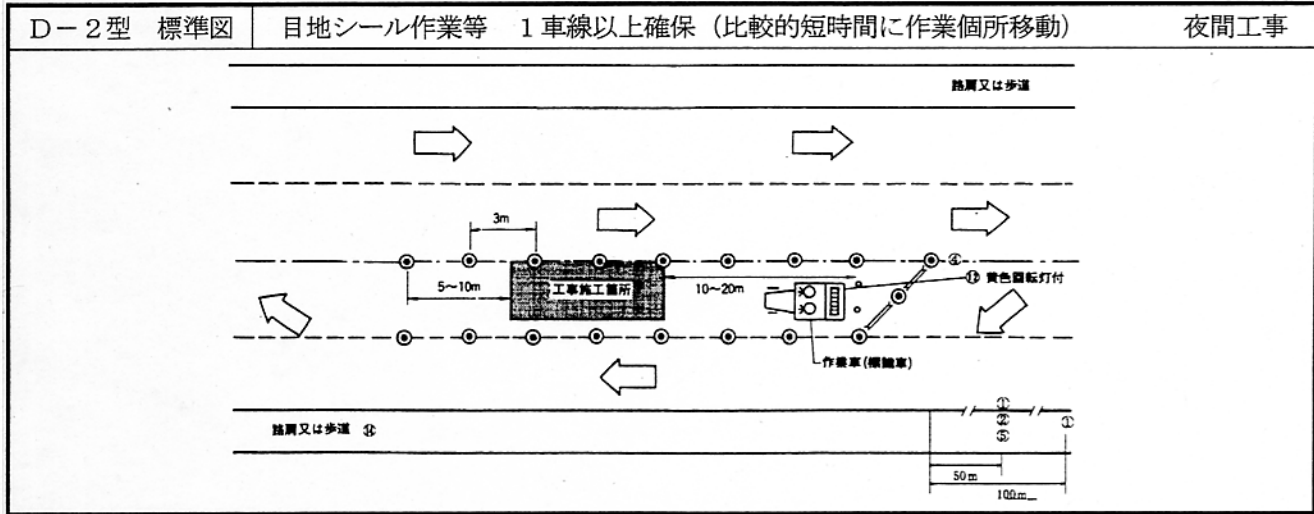
- 注 (1) ①の設置数、距離については、交通量その他、現地の状況によって定めること。
- (2) 昼間作業は保安灯をセーフティーコーンとし照明灯は除くこと。
- (3) 工事区間長および交通量に応じて、両端に適宜交通整理員もしくは自動信号機を置くこと。



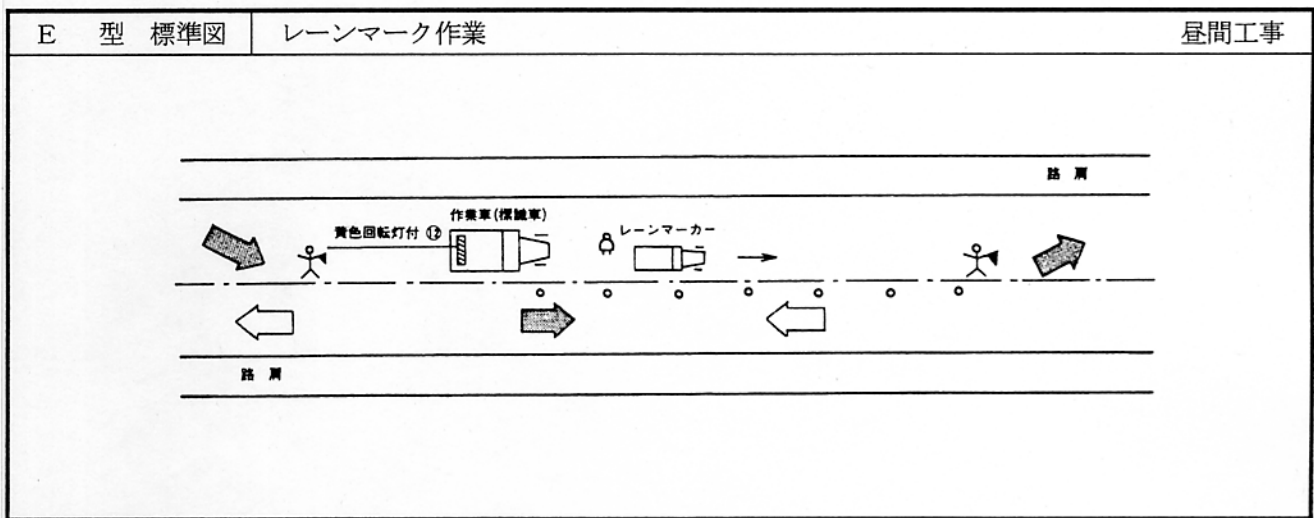
- 注 (1) ①の設置数、距離については、交通量その他、現地の状況によって定めること。
- (2) 昼間作業は保安灯をセーフティーコーンとし照明灯は除くこと。



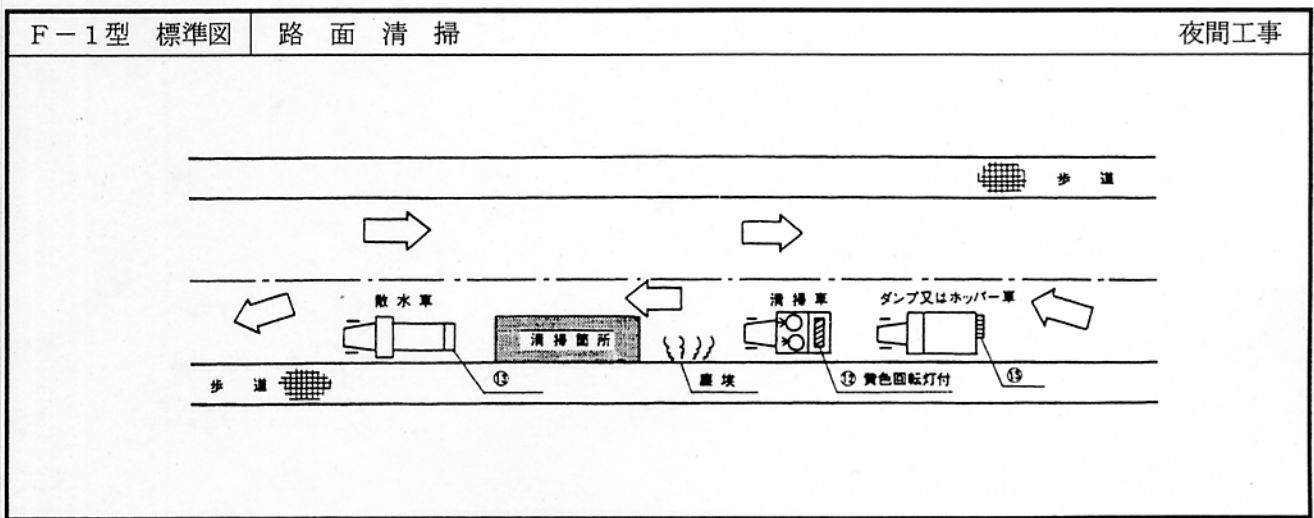
- 注 (1) 路肩に歩行者のある場合には必要に応じ歩道柵を設けること。
- (2) 昼間作業は保安灯をセーフティーコーンとし照明灯は除くこと。
- (3) 工事区間長および交通量に応じて、両端に適宜交通整理員もしくは自動信号機を置くこと。



注 (1) 昼間作業は保安灯をセーフティコーンとし照明灯は除くこと。

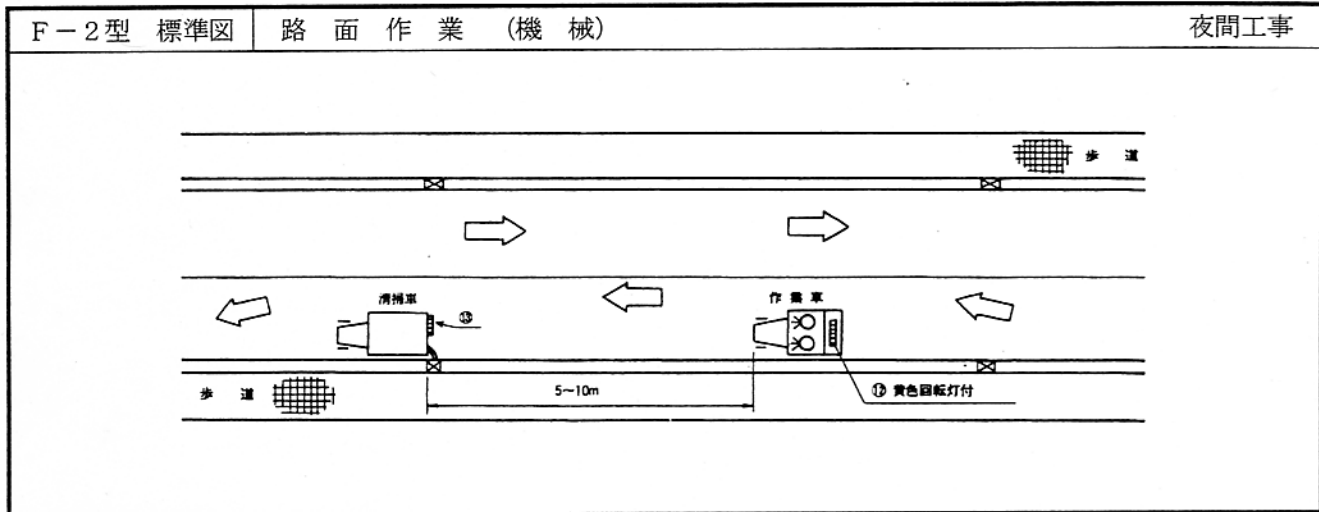


注 (1) 作業実施には、防護用に作業車を使用する。

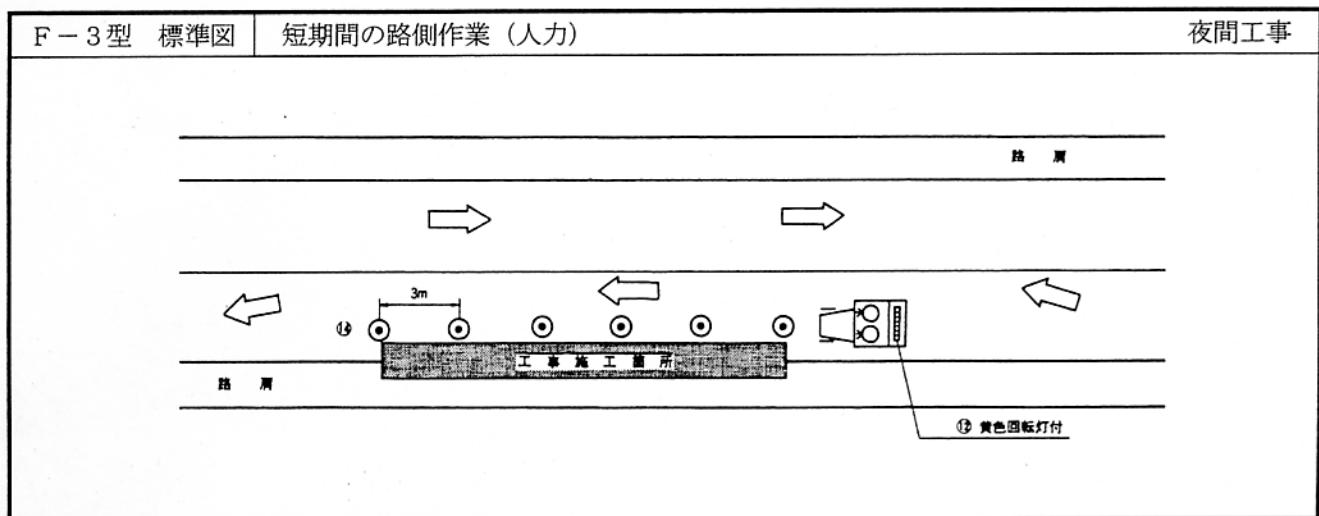


注 (1) 昼間作業は清掃車の上の照明灯は除く。

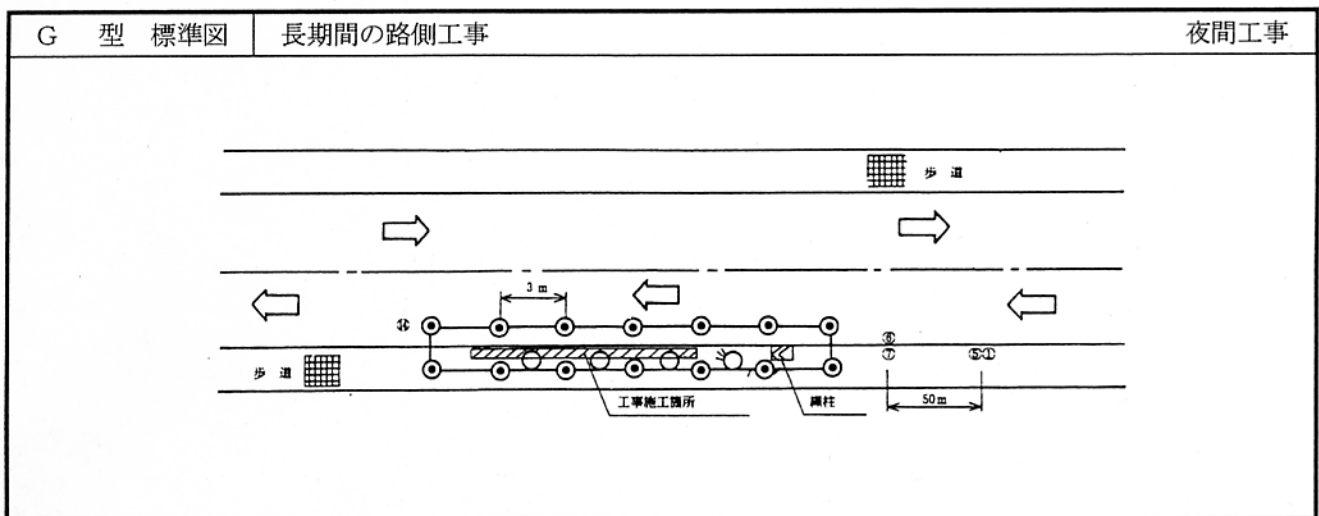
(2) 必要に応じ交通誘導員を置く。



- 注 (1) 昼間作業は作業車の上の照明灯は除く。
 (2) 必要に応じ交通誘導員を置く。



- 注 (1) 路肩に歩行者のある場合には必要に応じ歩道柵を設けること。
 (2) 昼間作業は保安灯をセーフティーコーンとする。



- 注 (1) 昼間作業は保安灯をセーフティーコーンとする。